

<課題>

① 重度化する利用者への対応

利用者の高齢化、重度化が進行しており、認知症に関する知識や対応のほか、緊急時の喀痰吸引などの措置に対応できる介護スタッフの確保が急務である。

こんなとき

<助成金を活用した人材育成の実施>

キャリア形成促進助成金「成長分野等人材育成コース」が活用できます!

- 成長分野等(医療・介護)の業務を行う労働者を育成するための訓練
- ⇒ 外部機関が実施する教育訓練や社内で行うOff-JTにより実施(1コース20時間以上)

《一人当たり》経費助成 1/2(1/3) 賃金助成 800円/h (400円/h)
*()は大企業



<全老健の会員施設が「成長分野等人材育成コース」を活用するケース>

【実施例】

デイケアやショートステイサービスを行っている医療法人が、認知症の利用者へのサービスを担当することになったスタッフに外部機関が実施する「認知症介護実践者研修」を受講させ、利用者に対する介護サービスの充実を図る。

- 実施機関 NPO〇〇介護ネットワーク (〇〇県委託先)
- 訓練期間: 6日間(40時間) 受講料 20,000円
- 経費助成(中小企業): 《一人当たり》経費助成 10,000円、賃金助成 32,000円



<助成金を活用した人材育成の実施>

<課題>

② 資格取得の支援

介護スタッフとして長年の経験を積んでいる者に介護福祉士の資格を取得させ、現場の中核人材として育成していきたい。

こんなとき

長期で資格取得を目指すのなら

キャリア形成促進助成金「成長分野等人材育成コース」が活用できます！

○成長分野等(医療・介護)の業務を行う労働者を育成するための訓練
⇒ 外部機関が実施する教育訓練や社内で行うOff-JTにより実施
(1コース20時間以上)
《一人当たり》経費助成 1/2(1/3) 賃金助成 800円/h (400円/h)
*()は大企業



キャリア形成促進助成金「中長期的キャリア形成コース」が活用できます！

○厚生労働大臣が指定する専門実践教育訓練に従業員に受講させ、または受講を支援する場合に助成が受けられるコース
⇒ 《一人当たり》経費助成 1/2(1/3) 賃金助成 800円/h (400円/h)
*()は大企業

(参考) 介護福祉士資格を養成課程とする指定講座数 152講座 (27.4月時点)
※専門実践教育訓練指定講座一覧
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11800000-Shokugyounouryokukaihatsukyoku/0000080391.pdf>
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11800000-Shokugyounouryokukaihatsukyoku/0000080392.pdf>



<全老健の会員施設が「成長分野等人材育成コース」を活用するケース>



【実施例】
入所者の介護サービスに長年の経験を積んでいるが、資格を持っていないスタッフに、受験資格の要件が厳しくなる前に、外部機関が実施する「介護福祉士受験対策講座」を受講させ、介護福祉士の資格取得を支援する。

○実施機関 ○○介護アカデミー
○訓練期間： 8日間(45時間) 受講料 100,000円
○経費助成 《一人当たり》経費助成 50,000円、賃金助成 36,000円



※介護福祉士の受験資格は平成28年度国家試験から実務経験ルート(経験3年以上)の場合、実務者研修(標準450時間)修了が義務化。

<課題>

③ リスクへの的確な対応

利用者の転倒・転落事故のほか、感染、プライバシー保護、地域との連携ミスの問題など施設内外において様々なリスクの発生が懸念されるが、こうしたリスクマネジメントを的確に行うことのできる人材が養成できていない。

こんなとき

<助成金を活用した人材育成の実施>

キャリア形成促進助成金「成長分野等人材育成コース」が活用できます！

- 成長分野等(医療・介護)の業務を行う労働者を育成するための訓練
- ⇒ 外部機関が実施する教育訓練や社内で行うOff-JTにより実施(1コース20時間以上)

《一人当たり》経費助成 1/2(1/3) 賃金助成 800円/h (400円/h)
*()は大企業



<全老健の会員施設が「成長分野等人材育成コース」を活用するケース>

【実施例】

デイケアや訪問リハビリサービスを行っている老健施設が、利用者の転倒事故や施設内感染、個人情報漏洩などのリスクに対し、その事後対応だけでなく、事前対応を含めたリスクマネジメントを行うことのできる人材の養成を図るため、全老健が実施する「介護老人保健施設リスクマネージャー養成講座」を受講させる。

- 実施機関： 全国老人保健施設協会
- 訓練期間： 3日間(21時間) 受講料 70,000円
- 経費助成(中小企業)： 《一人当たり》経費助成 35,000円、賃金助成 16,800円



<課題>

<助成金を活用した人材育成の実施>

④ リーダーの育成

チームケアを基本にした介護サービスの充実を図っていきたいが、チームをうまくまとめられるような人材がなかなか育たない。

こんなときも

キャリア形成促進助成金「成長分野等人材育成コース」が活用できます！

○成長分野等(医療・介護)の業務を行う労働者を育成するための訓練
⇒ 外部機関が実施する教育訓練や社内で行うOff-JTにより実施
(1コース20時間以上)

《一人当たり》経費助成 1/2(1/3) 賃金助成 800円/h (400円/h)
*()は大企業



<全老健の会員施設が「成長分野等人材育成コース」を活用するケース>

【実施例】

介護現場でチームケアを実践している介護老人保健施設が、チームリーダーを育成するために、外部機関が実施する「リーダーシップ養成研修」を受講させる。

- 実施機関 ○○株式会社
- 訓練期間： 4日間(24時間) 受講料 120,000円
- 経費助成(中小企業)： 《一人当たり》経費助成 60,000円、賃金助成 19,200円



<課題>

<助成金を活用した人材育成の実施>

⑤ 育児休業中の訓練

育児休業中のスタッフが職場復帰した時に、戸惑うことなくスムーズに業務に従事できるようにしたい。

こんなとき

⑥ 復職者への支援

育児休業を取っていたスタッフが職場復帰したが、本人の不安を解消した上で業務に専念してもらいたいので研修を実施したい

こんなとき

キャリア形成促進助成金「**育児中・復職後等能力アップコース**」が活用できます！

○ 育児休業中・復職後・再就職後労働者の能力アップのための訓練

⇒ 外部機関が実施する教育訓練や社内で行うOff-JTにより実施（1コース20時間以上）

①3か月以上の育児休業取得中の労働者への自発的な訓練（通信・自宅学習も可）

②復職後1年以内の労働者の能力アップのための訓練

③出産、育児等による離職後、子の小学校入学までに再就職（3年以内）した労働者に対する訓練

《一人当たり》 経費助成 2/3(1/2) 賃金助成(上記②③のみ) 800円/h(400円/h)

* ()は大企業



<全老健の会員施設が「育児中・復職後等能力アップコース」を活用するケース>

【実施例】

育児休業から復帰した介護スタッフに、痰の吸引や経管栄養等の措置が必要な要介護度の高い利用者の増加へ対応させるため、外部機関が実施する「喀痰吸引研修」を受講させる。

○実施機関 ○○社会福祉法人

○訓練期間： 9日間（58時間） 受講料 42,000円

○経費助成（中小企業）： 《一人当たり》経費助成 28,000円、賃金助成 46,400円

